TABLEAU SOFTWARE, LLC

腐敗防止方針

本腐敗防止方針は、Tableau の従業員/契約業者が Tableau での雇用期間中または業務遂行中に、腐敗防止法を理解し、遵守するためのガイダンスを提供します。米国の海外腐敗行為防止法 (「FCPA」)、英国贈賄防止法 (「UKBA」) など、汚職行為を禁じる法律は数多く存在します。本方針は、世界中で汚職行為を防止するために、これらの法律と Tableau の価値観に合致した Tableau の規則について概説するもので、すべての取締役、役員、従業員、および独立契約者に適用されます。Tableau はパートナー、ベンダーおよび代理店にも本方針を遵守することを求めます。

たとえ競合他社が不適切な行為に従事していたとしても、また Tableau が事業を行っている国で汚職行為が慣例になっていたとしても、本方針に例外はありません。従業員/契約業者は、世界のどの地域における Tableau の事業についても、本方針の精神と字義の両方に従うことが求められます。

腐敗防止

- Tableauに不正な利益をもたらす目的で、いかなる人物に対しても、直接的または間接的に、現金の支払い(賄賂、リベートなど)、またはその他のいかなる有価物についても、それらの提供の申し出や実際の提供を行うこと、あるいはその承認を行うことはできません。 これは、外国政府関係者、民間人、企業を含む、すべての者に適用されます。 外国政府関係者とは、政府の階位にかかわらず、政府の省庁または機関の関係者または職員をいいます。
- Tableau に不正な利益をもたらす目的で、いかなる人物からも、現金またはその他のいかなる有価物についても、それらの要求、受領の同意、受諾を行うことはできません。
- たとえ実際に受諾されなかった場合でも、賄賂の申し出だけで十分に本方針の違反に当たります。また、賄賂のために使用するのが会社の資金または自己資金であるかを問いません。
- 自分が直接関与していない場合でも、Tableau に関連する賄賂またはリベートの支払いが起きる可能性があることを認識した場合は、これらの行為を防止する義務があります。

会計要件

従業員/契約業者は、Tableau のすべての内部統制、特に正確かつ完全な帳簿と記録を確保するための内部統制、および汚職行為、自己取引、着服、詐欺、マネーロンダリング、その他の不正行為を防止するための内部統制を遵守する必要があります。

Tableau の帳簿またはその他の記録上で、賄賂を隠ぺいした場合、またはたとえ賄賂に関係がないとしても、その他の取引もしくは経費を改ざんした場合、これは会計基準の違反に当たります。 たとえ少額でも、誤った報告は違反に当たる場合があります。

利益相反

利益相反は腐敗防止法の違反に当たる可能性があります。実際の利益相反または潜在的な利益相反が存在する場合、Tableau のコンプライアンス責任者に開示しなければなりません。以下に、利益相反の例を挙げます。

- Tableauを規制する、もしくはTableauと取引を行う責任を負う政府の職員または顧客である Tableauの従業員または契約業者。
- 本人、その家族、個人的な友人、その他の Tableau の従業員/契約業者が全部または一部を所有するベンダーとの契約。
- Tableau が規制認可またはビジネス機会と引き換えに、政府関係者または顧客の親類を従業員または契約業者として雇用している。

円滑化のための支払い

本方針は、政府の日常業務を円滑化または確保する立場にある政府関係者に提供するいわゆる迅速化・円滑化のための支払いを含め、すべての賄賂の支払いまたは利益の供与を禁じます。 パスポートや認可の発行、またはその他のサービス提供の迅速化を図るために政府機関の定める正規の手数料を支払うことは許可されます。ただし、それらの手数料が政府に支払われること、正規の領収書が発行されること、および当該経費がTableauの帳簿に正確に記録されることを条件とします。

パートナーおよび仲介人

コンサルタント、ロビイスト、ベンダー、リセラーなどの第三者を経由して賄賂または不正な支払いが行われる場合でも、本方針の違反に当たります。料金、コミッション、割引、手数料、または個人資金を使用して政府関係者に賄賂を支払うための資金を調達した第三者と協力する企業によって、数件のFCPAおよびその他の腐敗防止に関する訴訟事件が引き起こされることがありました。

従業員/契約業者とTableauは、第三者に対して汚職行為に従事することを明示的に承認していない場合でも、責任を問われる可能性があります。Tableauのパートナーまたはベンダーが汚職行為またはその他の不適切な行為に従事していることを認識した場合は、コンプライアンス責任者に通知する必要があります。パートナーやベンダーへのすべての支払いは、会計要件に従って、帳簿および記録に正確に記載する必要があります。

贈物、旅行および接待

不正な取引促進以外の目的、または好意の意思表示として提供される手頃な価格の贈物、食事、接待、その他の便益は一般的に容認されます。 たとえば、Tableauのロゴが入った適度な価格のプラスチック製のペン、Tシャツ、コーヒーマグなどは違反とはなりません(たとえば、100ドル未満であれば、手頃な価格の贈物とみなされると思われます)。 ただし、高価な衣服や、車、休暇は、特に政府関係者またはTableauのビジネスに関連する意思決定を下す責任を負うその他の人物に提供される場合、懸念を引き起こす可能性があります。現金または現金同等物の贈物は常に禁止されます。

FCPAおよびUKBAの遵守に加え、贈物またはその他の便益の提供が、受領者が所在する国で適用される地元の法律または方針に違反しないことを確認する必要があります。 一部の国では、受領者が受け取ることができる贈物/便益の価格に明示的な制限を設けています。また、汚職または不正な意図がない場合でも、これらの贈物/便益の提供を一切禁止している国もあります

慈善寄付

Tableauに代わって寄付される慈善的な贈物または助成金はすべて、Tableau Foundationを通じて提供しなければなりません。 従業員/契約業者は、Tableau Foundation (foundation@tableau.com) へのメールにより、助成金の対象者を提案することができます。 このプロセスの一環として、対象者が外国政府関係者と関連または関係する場合は開示されていること、ならびに寄付の目的が適切であること (すなわち、取引の維持、または将来の取引もしくは取引上の優位性の獲得が条件となっていないこと) を確認してください。

脱税

脱税とは、法律により課される税金の賦課または支払いを意図的かつ違法に免れようとすることと定義され、本方針の違反となります。また脱税は、多くの連邦制定法および州制定法に基づいて犯罪行為とみなされます。 脱税の例には、税金を少なくする意図をもって別の国または法域で売上を申告すること、給与控除を水増しすること、税金を免れる意図をもって販売品またはサービスの種類を虚偽申告することなどが含まれます。従業員/契約業者は、従業員その他の個人または法人 (パートナー、ベンダー、顧客、その他の第三者を含む)による脱税を、Tableauのコンプライアンス責任者(連絡先情報は下記を参照)またはTableauのホットラインに報告する義務を負っています。 たとえ少額でも、誤った報告は違反とみなされる場合があります。

違反および結果

本方針の違反は、降格、配置転換、追加研修、謹慎、停職、さらには解雇を含む相応の懲戒処分の対象になります。 FCPA および UKBA に基づく刑事罰が適用される場合、政府は 20 年以下の禁錮および無制限の罰金を含む、さらなる制裁を課す可能性があります。

米国と英国の政府はこれらの規則を世界中の個人と団体に対して施行します。米国市民以外の個人が米国に引き渡され、FCPA およびその他の米国の法律に基づき告訴された事例もあります。 本方針は、国籍または居住場所にかかわらず、世界各地における Tableau のすべての取締役、役員、従業員、および独立契約業者として勤務する個人に適用されます。

研修および資料

指名された人員は全員、Tableau が実施する腐敗防止に関する研修を受ける必要があります。 研修の性質、内容および頻度は、各人の特定の職務に関連するリスクに基づき、Tableau が決定します。 Tableau は、すべてのビジネスパートナーの皆様に対して、同様に従業員向けの研修を実施することを推奨します。

報告/質問

従業員/契約業者は、本方針のすべての違反について、Tableau のコンプライアンス責任者である Keenan Conder に自発的に報告する義務があります。 連絡先は、米国 206.634.5737 、complianceofficer@tableau.com です。また、Tableau のホットライン番号、米国 855.522.7041 を使用するか、またはオンライン (www.tableau.ethicspoint.com) で匿名で報告することもできます。

懸念の報告に関する詳細情報については、Tableau の企業倫理・行動規範および会計・監査の問題に関する苦情申立て方針を参照してください。

本方針の内容および実施に関する皆様からのコメントや質問をお待ちしています。コメントは、コンプライアンス責任者宛てにお送りください。